

綱 領

この国のかたちを変える！

一官権から民権へ（「民間」と「地域」が主役の日本）一

1. 目標

我が国の政治状況は、自民党の「一強多弱」と評される中で、官僚主導、族議員主導が強まり、国民が置き去りにされつつある。今こそ、政治理念と基本政策の一貫性を前提に野党勢力を結集し、与党・自民党に代わって、政権担当可能な一大勢力をつくるなければならない。

我が党はそのための「触媒」となり、身を捨てる覚悟で、党の発展的解消も辞さず、眞の改革勢力を結集していく。

2. 理念

- ①「保守 v s リベラル」（55年体制）を超えた政治を目指す。イデオロギーではなく国民本位に、内政、外交とも常に政策ごとに判断する。
- ②「自由」（フリー）で「公正」（フェア）で「開かれた」（オープン）社会を目指す。
- ③「政治は社会的弱者のためにある」を旨とする。
- ④課題を次世代に先送りせず、将来に向けた持続可能な制度・仕組みを構築する。
- ⑤日本の旧き良き「伝統」は守り、豊かな自然と多様な文化の源である地域を育み、悪しき「因習」、「既得権益」は打破する。
- ⑥自律的な外交と安全保障で諸外国との平和的共存を図り、決して戦争への道は歩まない。

⑦戦後、日本国憲法が果たしてきた役割を正当に評価するとともに、時代の要請に応じて不斷の見直しを行う。

3. 使命（ミッション）

【脱官僚】（民間が主役） 【脱中央集権】（地域が主役） 【脱しがらみ・利権】（生活者が主役）で、この「国のかたち」を変える！

4. 政治姿勢

①責任政党として、与党・自民党に対しては、常に、国家、国民の立場にたって政策ごとに対応し、反対のための反対はしない。ただし、与党・自民党の数をたのんだ暴走にはしっかりと歯止めをかける。

②民主的で開かれた、風通しの良い党運営を旨とする。